

2021 年度卒業文集

校長 皆川 勝

中学から高校への 6 年間で本校で過ごされて、旅立たれることに祝意を表します。本校における知識・学識の習得、人間的な成長、部活での技術・知識の習得などを経て、より実社会と近く、さらに深い、さらに広い活動へと人生のステップを進めることとなります。

ヴィクトール・フランクルは、人生は、態度価値、創造価値および体験価値によって意味あるものとなると言っています。自分の良心に基づいて態度を決めてそのように行動すること、世の中に存在しない新しいものを自分の力で創り出すこと、そして、自分ではどのようにしても避けることのできない苦しみや痛みなどを体験することによって、私たちひとり一人の人生の瞬間、瞬間において、私たちの人生は態度価値、創造価値あるいは体験価値により、生きている意味に満たされるのです。そのつどそのつどの意味を実現することは、まったく私たちの責任であり、私たちの決断なのです。その仕方もまた、ひとりひとり異なってきます。

人生には多くの困難が待ち受けています。困難にあたって、どう対処するかを決めるのも自分自身です。「難あり、有難し」の精神で、挑戦してください。その際、ひとりひとりの人間は、かけがえない存在、代わりのいない存在であることを忘れないで下さい。どのように対処するかという決断も、挑戦した結果を受け入れ、そのあとにどのようにつなげてゆくかという決断も、最終的には自分自身にゆだねられているのです。

一方、私たちが生きている間には、「あの方との出会いがなければ、今の自分はあり得なかった」という方に必ず出会うものだと思います。そして、私たち自身もまた、社会の中で、どなたかの人生に少なからぬ影響を及ぼしてゆくものです。私たちは、自分の周囲の方々やコミュニティー・社会を構成する他の人びとやその組織に関与することによって、この世の中で唯一無二の価値ある者として存在できているということになります。人生における決断は私たち個人に委ねられています、決して一人よがり、独善に陥ってはなりません。

若い皆さんの可能性は限りなく広く、深いと思います。皆さんには、世界全体を視野に入れて、多様な方々の違いを尊重して、広い範囲の方々と積極的に、前向きに関わりつつ、この社会をより良い方向へ進めていただきたいと思います。

皆さんが大学へ進み、就職し、そして社会の中で自分の存在価値が自分でも認識できるようになった時、もしも、本校での出会い、学び、体験などが、なにがしかの価値を持っていたとだけ思っていたら、皆さんの恩師の先生方にとって、無上の喜びとなると思います。